

5. 事業が長期間要している理由は？

【元々が長期計画】

【不測の事態により長期化】

- ・ 本事業は、整備延長が9.7kmと長いため、当初から事業期間12年を設定している。
- ・ 宅地等の用地交渉に時間を要することや、暗渠として計画している箇所では市道に埋設しなければならず、既存埋設物(農業用水管路、水道等)管理者との調整に時間を要し、当初計画よりも進捗が遅れている。



6. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし

事業計画の変更

スケジュールの変更

排水路工等の整備を実施し、農地及び農作物等への溢水、湛水被害の軽減を図るための事業であり、現在60.5%まで進捗している。

現在においても、溢水、湛水被害の解消が必要であり、懸案事項であった宅地等の用地交渉や既存埋設物管理者との調整について見通しが立ったため、早期完成を図りたい。